

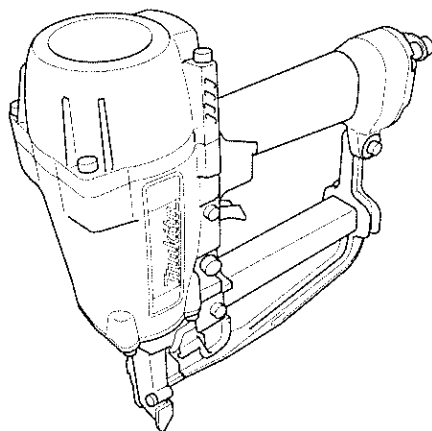


ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしと仕事のために

取扱説明書

エアタッカ

モデル AT1150



このたびはマキタエアタッカをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能	モデル	AT1150
使用空気圧力		4.5~7kgf/cm ² G (0.44~0.69MPaG)
使用ステープル		1132・1138・1145・1150
ステープル装てん数		60発
重量		2.0kg
機体寸法		長さ296mm×高さ295mm×幅88mm
使用ホース内径		6.5mm以上

- ・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の△警告・△注意・注の意味について

ご使用上の注意事項は△警告と△注意、注に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、△注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△警告

1. ご使用前に取扱説明書は必ずよくお読みください。

- ・機械の取扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。



2. 次のときは、機械を使用しないでください。

- ・事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。



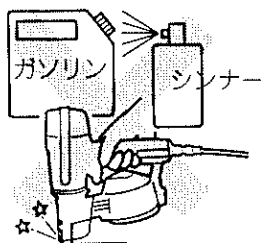
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用してステープル打ち作業をしてください。

- ・装着しないと打ち損じのステープルで目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。



4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。

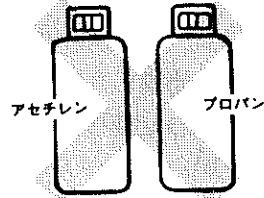
- ・ステープルを打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。



△警告

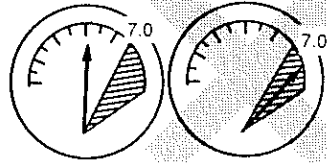
5. ステープル打ち作業以外の用途には使用しないでください。
・ 事故の原因になります。

6. 機械に刻印や溶接等の改造をしないでください。
・ 外枠が破損し、けがの原因になります。



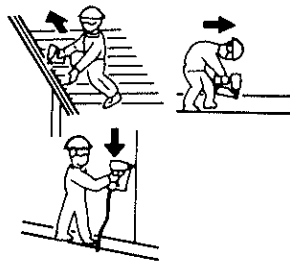
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。

8. 圧縮空気の圧力は4.5～7kgf/cm²G(0.44～0.69MPaG)の範囲内で使用してください。
・ 高過ぎる圧力は、損傷による事故の原因になります。



9. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。

10. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりとらせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
・ 足場が不安定だと事故の原因になります。

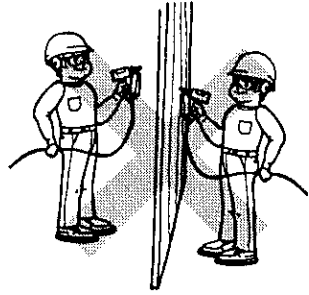


11. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。

△警告

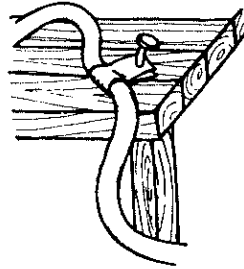
12. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。

- ・ 打ち損じのステープルなどがあたりけがをする原因となります。



13. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。

- ・ ステープルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。



14. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。

- ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。

15. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。

- ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

16. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。

- ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

17. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

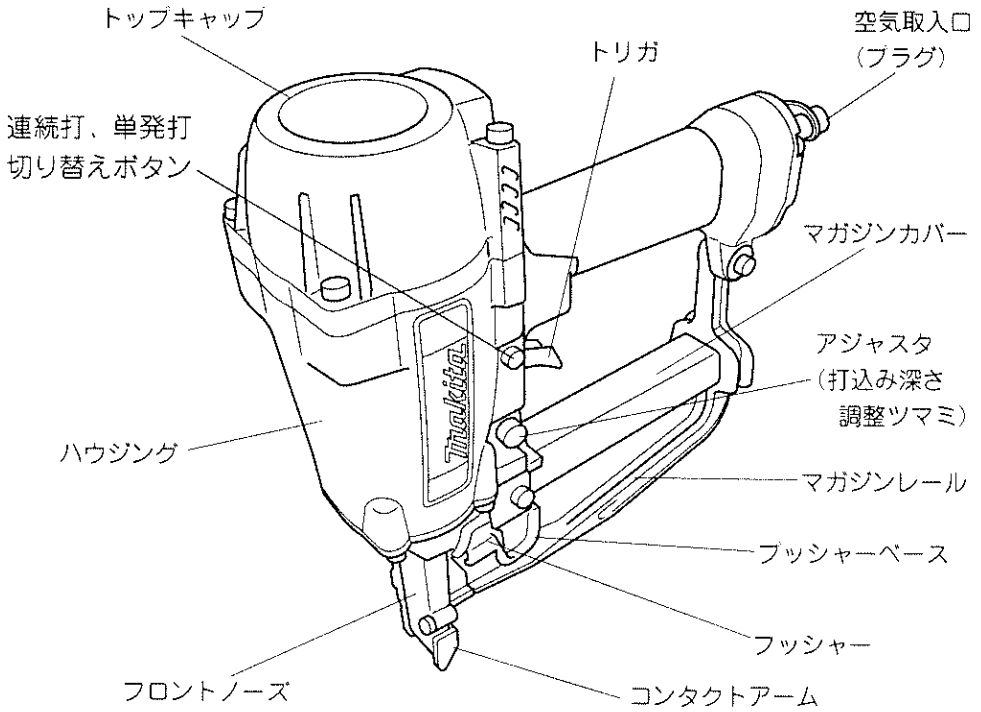
18. 次の場合は、エアホースを本機からはずしてください。

- ・ 誤って機械が作動すると事故の原因になります。
 - 修理する場合。
 - ステープルを装填する場合、また取り出す場合。
 - 作業中、機械を持って移動する場合。
 - 点検整備をする場合。
 - その他事故が予想される場合。

△注意

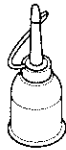
1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
 - ・袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
 - ・暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
 - ・不完全な機械を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
 - ・確実に当てていないと、ステーブルがはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、機械に顔などを近づけないでください。
 - ・ステーブルの上や木の節などに当たった場合、機械が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
 - ・そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 機械およびコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
 - ・タンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 機械の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
 - ・握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をお勧めします。点検修理は、お買い求めの販売店またはお近くのマキタ直当事業所にお申しつけください。
 - ・修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および通常付属品

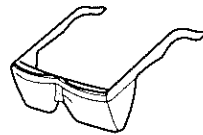


通常付属品

- ・油サシ



- ・セーフティゴーグル (保護メガネ)



- ・六角棒スパナ3、4、5 (各1本)

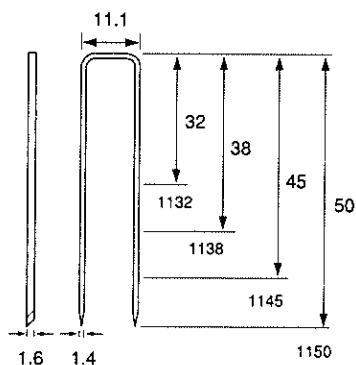


- ・プラスチックケース (本機携帯用)

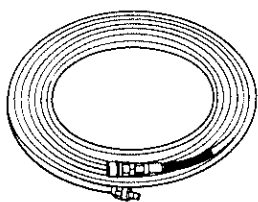
特別付属品(別販売)のご紹介

- ・フローリング専用ステープル

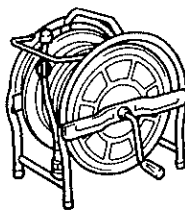
足長(mm)	商品名
32	1132
38	1138
45	1145
50	1150



- ・エアホースアッセンブリ
(ワンタッチジョイント付)
内径6.5mm×長さ20m

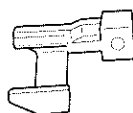


- ・エアリール (30m巻)



- ・油サシ

- ・平打用アタッチメント



使い方

安全装置の確認

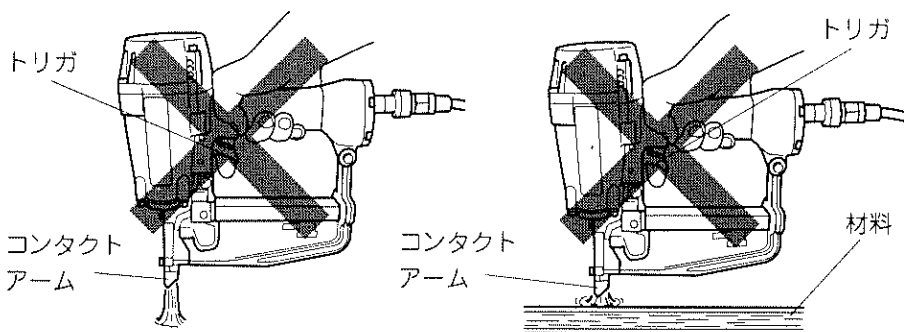
⚠警告

安全装置に異常がある場合は使用しないでください。

・そのまま使用すると事故の原因になります。

・ステーブルを打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。

- 1.作業にはいる前に本機にステーブルが装てんされていないことを確認してください。
- 2.本機にエアホースを接続します。
- 3.まずトリガだけを引いてください。次にトリガから指を離しコンタクトアームを材料に押し当ててください。
- 4.上記3の操作で本機が作動する場合は安全装置が異常です。



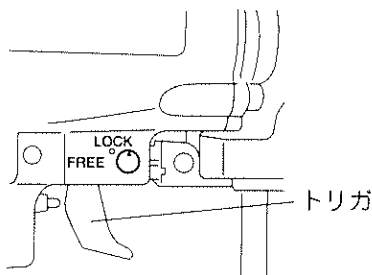
トリガロック装置

⚠警告

ステーブルを打つ時以外は、必ずトリガロックをロックしておいてください。

・誤って発射された場合に事故の原因になります。

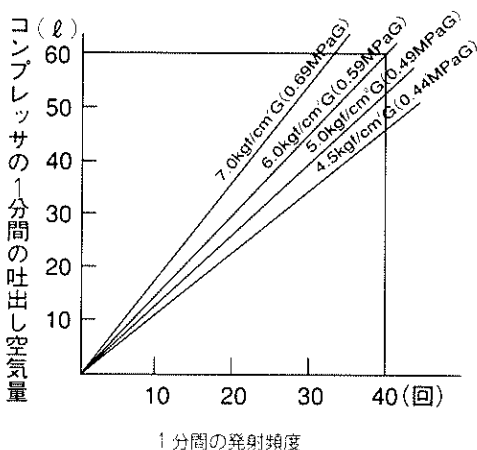
・本機はより安全に作業していただくために、トリガロック装置を標準装備しています。切り替えレバーの▲矢印をLOCKの位置にあわせれば、トリガをロック（固定）することができます。



使い方

コンプレッサの選定について

機械を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は右図を参考にしてください。右図は本機での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、使用圧力が6.0kgf/cm²G(0.59MPaG)で発射頻度が1分間に約40回ですと、吐出し空気量60ℓ/分以上のコンプレッサが必要です。

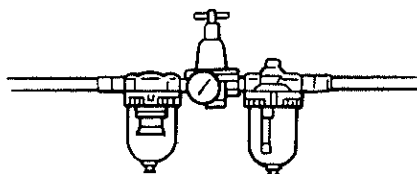


エアホースの選定について

- ・連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。
※内径6.5ミリ以上、長さ30メートル以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

注

- ・ステープルの発射頻度に比べコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長さが長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。
- ・機械を最適の条件で使用するために、エアセットを機械にできるだけ近づけて取り付けてください。オイルの油の滴下の量は50回打ち込むごとに1滴(約0.02cc)の割合で調整してください。
- ・エアセットのオイルを使用しない場合は使用前後にエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してください。作業前の注油は潤滑油となります。作業後は注油してから数回発射してください。油が機械全体に行きわたり錆止めとなります。長時間作業される場合は注油回数をふやしてください。



使い方

コンプレッサ・エアセット・エアホースの保管・点検

- ・作業後は必ずコンプレッサのタンクおよびエアセットのエアフィルタ内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、機械の能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・エアセットのオイル内にタービン油が入っているか定期的に点検してください。油がない状態で使用しますと、Oリングの早期摩耗の原因となります。
- ・エアホースは熱(60℃以上)、薬品(シンナー、強酸、強アルカリなど)および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

ステーブルの装てんについて

⚠警告

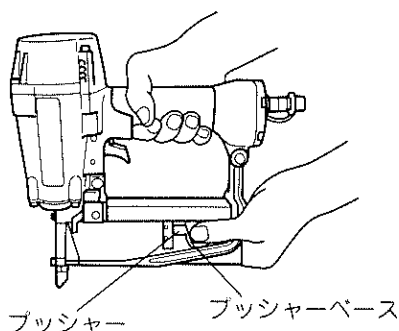
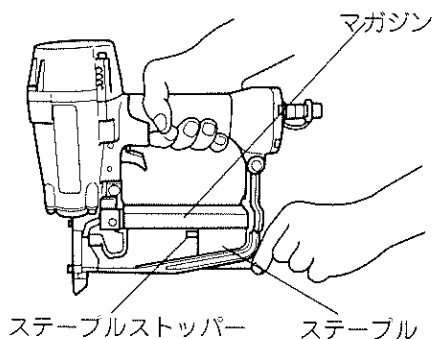
ステーブルを装てんする場合は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

- ・誤って機械が作動すると事故の原因になります。

- ・使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

ステーブルの入れ方

- ・ステーブルをマガジン後方から、ステーブルストッパーの見える位置まで入れます。
- ・前方にあるプッシャーベースをマガジン後端まで引っ張り、静かに戻します。
- ・プッシャーベースを戻す際、プッシャーを押したまま行きますと、ステーブルがセットされません。装填はプッシャーを押さずに行ってください。
- ・プッシャーベースは急に放しますと、プッシャーが急激に戻り、ステーブルが変形したり、ばらばらになったりして、ステーブルづまりの原因になります。また機械の故障の原因にもなります。プッシャーベースは必ず静かに戻してください。



使い方

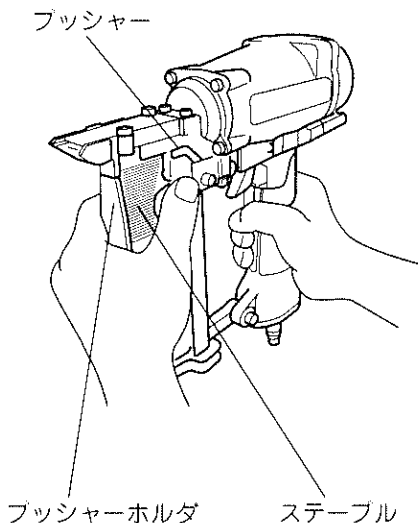
⚠警告

ステープルを抜き取る場合は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

- ・誤って機械が作動すると事故の原因になります。

ステープルの抜き取り方

- ・エアホースをはずします。
- ・マガジン後端を下にして、プッシャーベースを少し引きながら左右のプッシャーを押し、ステープルを後方にずらして、プッシャーベースを静かに前方へ戻してください。
- ・ステープルストッパーを押し、ステープルを抜き取ってください。



注

ステープルの連結が変形したものは使用しないでください。

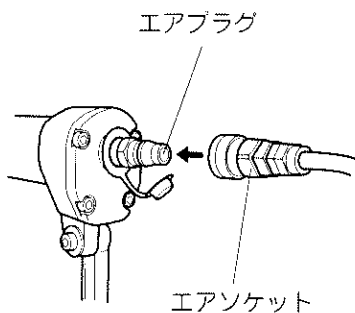
指定のステープルを使用してください。

- ・指定以外のステープルを使用しますと、釘づまり、故障の原因になります。

使い方

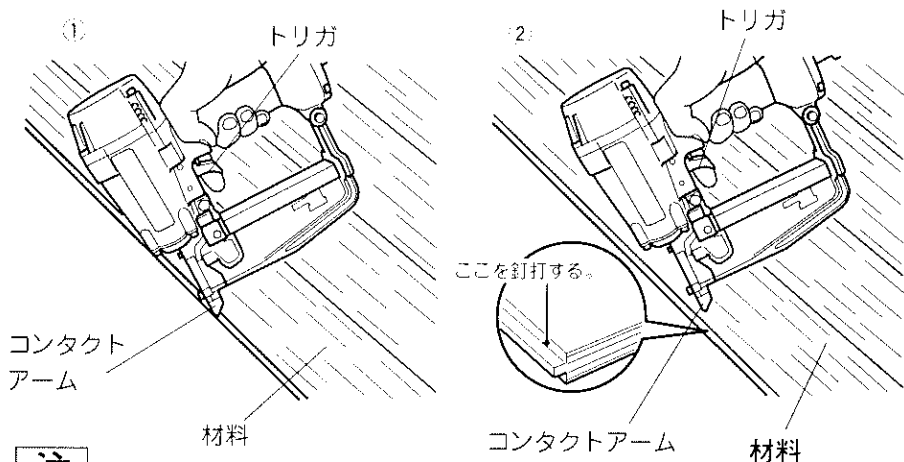
エアホースの接続

- ・トリガをロックし、本機のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。



打ち込み方法について

- ・コンタクトアームを材料に当ててからトリガを引き打ち込む方法①とトリガをあらかじめ引いておいて、コンタクトアームを材料に当てて打ち込む方法②の2つの方法があります。
- ①の方法は断続的ですが正確な打ち込み位置を合わせる必要があるときに、②は連続作業に適しています。




注


- ・本機には空打防止機能が付いていますので、空打による無駄な作業や、ステープルの残り本数を確認する必要がありません。
- ・ステープルの残りが約5本になりますと、発射しません。続けてご使用になる場合は、ステープルを補充してください。

使い方

連続打ち、単発打ちの切り替え方法

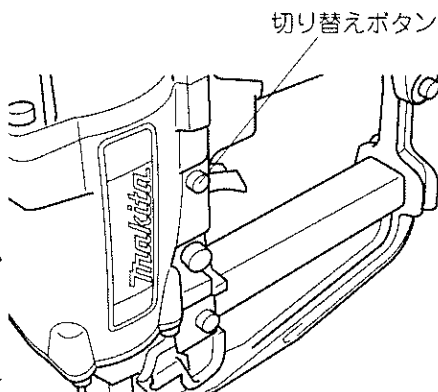
- ・本機に付いている切り替えボタンを押して切り替えます。

切り替えボタンが  のときは連続

打ち、 のときは単発打ちとなります。

このとき切り替えボタンが確実にセットされていることを確認してください。

- ・作業の内容により連続打ちと単発打ちとを切り替えて使用してください。



連続打ちについて

- ・連続打ちにセットした場合はトリガを引いたままの状態でもコンタクトアームを材料に押し当てることにより連続的に作業が行えます。打ち込むときに必要以上に本機を材料に押し続けると二度打ちをすることがありますので注意してください。

単発打ちについて

- ・単発打ちにセットした場合はコンタクトアームを材料に押し当てトリガを引くことによりステープルが発射されます。次の作業に入るときはトリガを一度はなします。主に二度打ちを確実に防ぐ必要があるときに使用します。

使い方

ステーブルの打ち込み深さの調整について

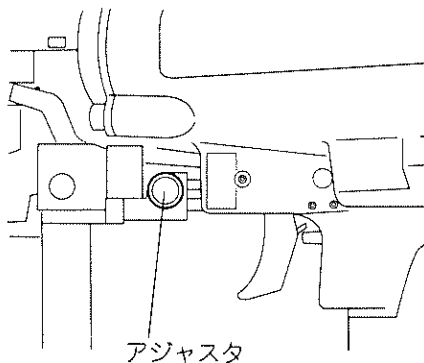
⚠警告

打ち込み深さ調整をする場合は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

・誤って機械が作動すると事故の原因になります。

・打ち込み深さ調整をするときは必ず本機からエアホースがはずしてあることを確認してください。

・打ち込み深さ調整はアジャスタを回転させて行います。右に回すと深くなり、左に回すと浅くなります。ステーブルの打ち込み具合に合わせて調整してください。一般に空気圧力を低くし、打ち込み深さ調整を深い方で使用した方が機械は長持ちします。



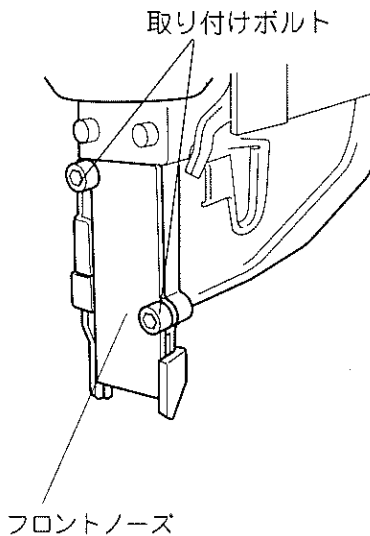
使い方

ステーブル組みの直し方

⚠警告

作業に入る前にトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。
・誤って機械が作動すると事故の原因になります。

- ・作業に入る前にトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。
- ・本機に残っているステーブルを取り出してください。
- ・フロントノーズの取付ボルトを2本ゆるめフロントノーズを外し、つまったステーブルを取り除いてください。
- ・フロントノーズを取り付け、取り付けボルト2本を確実に締め付けてください。



特別付属品の使い方

平打用アタッチメントの交換方法

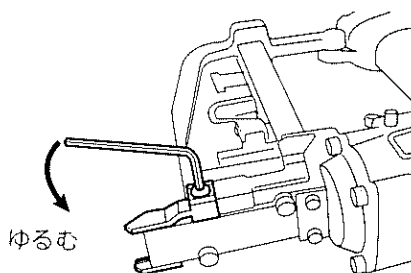
⚠警告

平打用アタッチメント脱着の際は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

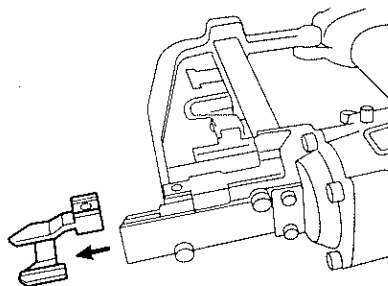
・誤って機械が作動すると事故の原因になります。

取りはずし方

- ・コンタクトアームを取り付けている六角穴付ボルトを付属の六角棒スパナ3でゆるめ、取りはずしてください。



- ・コンタクトアームをスライドさせて抜き出してください。



取り付け方

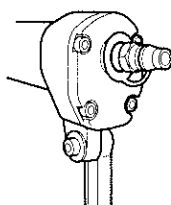
- ・取りはずし方の逆の要領で取り付けてください。

保守・点検について

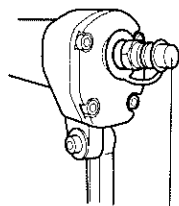
作業後の保管

- ・ 機械内にゴミやほこりなどが入ると故障の原因になります。
- ・ 使用しないときには、エアホースをはずしエアプラグにエアプラグキャップをしてください。
- ・ 長時間使用しないときは防錆のため摺動部にマシン油などを塗布し、プラスチックケースに収納してください。
- ・ 湿気の多い所、日光の当たる所、粉塵の多い所は避けて保管してください。

作業中



作業後



エアプラグ
キャップ

指定オイルの使用

- ・ オイルはマキタ純正のオイルを必ず使用してください。作業終了時に最良の状態を保つために空気取入れ口より付属のタービン油を数滴注油してください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または裏面掲載の最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0744) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (66) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (261) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (261) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4650
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0539
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(056) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (771) 3462	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
岡毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(0593) (51) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千歳支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)